

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network Now

2020 No.529

1/1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 読影分科会 第30回 ナイトセミナー (Web同時配信) 開催される

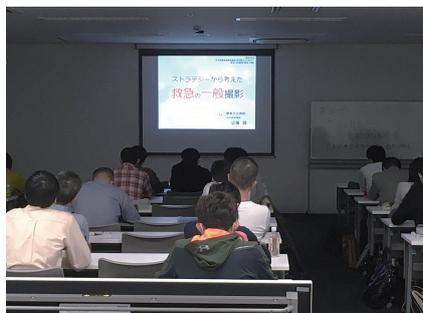
2019年10月21日(月)午後7時より、本会事務所講義室において標記セミナーが開催された。本セミナーは、本会初のWeb配信セミナーとして、愛知会場・大阪会場に同時配信され、3カ所で合計100人を超える会員が受講した。中澤靖夫会長のあいさつに始まり、前半は、加藤京一分科会長(学校法人昭和大学)より「放射線技術部門から病院経営をサポートするApplied Intelligence」と題し、院内ビッグデータ(Big Data)を用いて、業務の効率化・最適化に活用し、最終的にはワーク・ライフ・バランスや収益につなげる試みについて述べられ、今後の部門管理の在り方に対する可能性を感じさせた。後半は、近藤誠先生(関東労災病院)より「ストラテジーから考えた救急一般撮影」と題し、豊富なケーススタディーを基に、撮影後の診療・治療を意識した救急一般

撮影技術や読影補助のコツなどについて述べられ、チーム医療の一員としての考え方が非常に大切であることを認識することができた。

今回、同時配信となった東京会場と愛知会場・大阪会場を結んだネット環境は非常に良く、Webを通しての講演とは思えない臨場感ある音声・映像であり、参加者からも高評価を得られた。今後、このWebセミナーによって東京でのみ開催されていたナイトセミナーが各地域でも視聴できるようになれば、会員にとって大きなメリットになる。同時に、若手技師育成のツールとしても大いに活用でき、これが各分科会や研修会にも発展していけばと、今後に大きな期待が膨らむセミナーとなった。



東京会場 (本会事務所)



愛知会場



大阪会場

## 第4回 診療放射線技師学校養成所 カリキュラム等改善検討委員会 開催される

2019年11月15日(金)、厚生労働省会議室で第4回診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討委員会(以下、検討会)が開催された。本検討会は、9月6日に開催された第3回検討会を受け、最終会議となった。

第1回の当初案から変更となった単位数と教育内容は、「画像診断・技術学」の名称を改め内容を「臨床画像学」「実践臨床画像学」に分割し、「診療画像技術学」と「臨床画像学」を統合した教育内容「診療画像技術学・臨床画像学」とし、17単位から18単位に追加した。また「放射線治療技術学」に粒子線治療に関する内容を盛り込むことで、6単位から7単位に追加し、総単位数は原案通り102単位とした。

当初案から変更となる専任教員の要件としては、教育に適

切な教員人数の要望として、当初通り「増員」され、学校または養成所の新設置における許容に関する記述は現行通り残すことにした。現案から変更となる参加型の臨床実習における許容される行為は、関係団体間の合意が得られず、可能な行為やその水準については全国統一の評価方法が望まれることなどにより、今後の課題とされた。また教員の資格、または5年以上の実務に従事した後に厚生労働省の定める基準に合った講習である「診療放射線技師臨床実習指導者講習会」を修了した診療放射線技師が配置されていることが望ましいとされた。詳細は、本会誌11月号巻頭言および厚生労働省ホームページを参照いただきたい。

(副会長 熊代正行)

## 2019年度 診療放射線技師養成機関・ 職域団体との懇談会 開催される

2019年11月16日(土)午後2時より、本会事務所で2019年度診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会が開催された。今回は国公立大学4校、私立大学21校(うち2020年4月開校が2校)、専門学校・養成所9校および職域団体から7団体で、総勢48人の方々にご出席いただいた。本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、西川理事が出席した。

懇談会は江田理事の司会の下、中澤会長のあいさつから始まり、ご出席された皆さまから自己紹介を頂いた。

次に、本会の事業について報告が行われ、「令和元年度 事業計画の進捗状況について」を中澤会長より、「業務拡大に伴う統一講習会の進捗について」を西川理事より、「医療放



射線安全管理責任者講習会について」を小田理事より報告した。

続いて「診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会の報告」の中で、95単位から102単位への引き上げ、専任教員の見直し、臨床実習の在り方等改正の内容について熊代副会長より説明がなされ、活発な質疑応答や養成機関からの要望も挙げられた。

さらに「医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究」について熊代副会長より説明し、本会から行政へ提出した要望書一覧に関する説明と、本会への入会促進について協力要請がなされた。

最後に、佐野副会長よりご出席いただいた諸先生方への感謝とあいさつが述べられ閉会した。



## 公明党 診療放射線技師制度に関する議員懇話会 開催される

2019年11月13日(水)、衆議院第二議員会館会議室において公明党「診療放射線技師制度に関する議員懇話会」が開催された。本懇話会は昨年2月5日に設立されて以来、定期的に会合を持っている。

今回は、公明党からは懇話会会長 石田祝稔衆議院議員、副会長 古屋範子衆議院議員、幹事長 佐藤英道衆議院議員ほか、大口善徳衆議院議員、横山信一参議院議員らが出席、本会からは中澤靖夫会長、佐野幹夫副会長、小田正記理事、江田哲男理事、上島隆事務局長らが出席した。

冒頭、石田会長よりごあいさついただいた後、本会より次の10項目の要望の説明がなされた。その後、質疑応答と意見交換が行われた。石田会長は要望を受け止め、積極的に対応していきたいと述べられた。今後も、定期的に懇話会を開催し、意見交換が行われる。



1. 医療安全のための適切な管理体制の構築
  - ①医療放射線安全管理体制の推進
  - ②放射線関連医療機器の管理体制の推進
  - ③画像精度運用管理体制の推進
2. チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用、タスク・シフティングの推進
3. 養成教育の四年制大学化および参加型臨床実習の実現
4. 国家試験委員の構成について
5. 医学物理士の在り方について
6. がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実および環境整備
7. 診療放射線技師の働き方改革の推進
8. 診療放射線技師法の改正運動の展開
9. 診療放射線技師 Practitioner の検討
10. 放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用



## 診療放射線技師基礎講習 医療基礎コース 「救急医療学」実習 開催される

2019年11月4日(月・振休)、本会事務所講義室で標記セミナーが開催された。日本救急医学会 ICLS 認定インストラクターの資格を有する講師の指導により、胸骨圧迫、気道確保・換気、AEDの実習を行った。

業務拡大に伴う統一講習会でも一次救命処置の項目が含まれているが、本講習会ではそれに加え、呼吸管理実技や一次救命、救急医療の歴史、問題点を学ぶことができる非常に有意義な講習会である。

受講者アンケートでは、全ての参加者が「参加して良かった」「今後は心肺蘇生時に落ち着いて対処できそう」と回答しており、本セミナーの満足度が高いことがうかがえる。また受講者の約6割が業務拡大に伴う統一講習会を受講済みであり、スキルアップの良い機会になったと考える。リラックスした雰囲気を受講していただくため工夫を凝らした結果、



講師の評価も高く、講師と受講生の双方に有意義な講習会となった。

未受講者だけではなく、定期的なスキルの確認の場としてもご活用いただきたい。

## 国民祭典「祝賀式典」に参列する

2019年11月9日(土)、天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典「祝賀式典」が開催され、奉祝委員会役員である中澤会長、JARTからは熊代副会長、小田理事、江田理事、事務局加藤課長、会田秘書が参列した。二重橋前の特設会場には3万席(招待席2万席、一般公募1万席)が用意され、受付開始時刻前から大勢の方々が全国から集まり、長蛇の列を成した。



第1部「奉祝まつり」祝賀パレードセレモニーにはフィギュアスケートの紀平梨花選手、俳優の藤岡弘、氏らが出席し、テープカットを行った。パレードには警視庁音楽隊、東京消防庁音楽隊、岩手県の奥州江刺百鹿大群舞、石川県の能登キリコ祭り(宇出津あばれ祭り)、埼玉県の久喜提燈祭り提燈山車、鳥取県のしゃんしゃん傘踊り、沖縄県のエイサーなど、各地の代表的な祭りのデモンストレーションが続き、沿道に大勢の方々が詰め掛けた。

第2部の祝賀式典では、古谷圭司衆議院議員の開会宣言に始まり、陸海空自衛隊合同音楽隊の開会ファンファーレ、女優 芦田愛菜さん、歌舞伎俳優 松本白鸚氏、日本経済団体連合会名誉会長 御手洗富士夫氏らのお祝いメッセージ、鬼太鼓座と狂言野村万蔵家9代目当主 野村万蔵氏の奉祝演奏が行われた。参列者に配られたお祝いの提灯に灯(LEDライト)をともし、全員起立して天皇皇后両陛下をお迎えした。日本商工会議所会頭の三村明夫氏の式辞、安倍総理の祝辞に続き、天皇陛下御即位奉納組曲「Ray of Water(水に差し込むまばゆい光、の意)」が奉納された。この曲は天皇陛下が長年研究されている「水」がテーマで三部構成になっている。オーケストラ演奏の第1楽章が「海神」、辻井伸行氏がピアノ演奏で加わった第2楽章が「虹の子ども」、脚本家 岡田恵和氏が作詞を手掛けた第3楽章が「Journey to Harmony」で、これを人気グループ 嵐が熱唱した。その後、オペラ歌手 森谷真理さんによる国歌斉唱、参列者全員による国歌斉唱が続いた。天皇陛下のお言葉は次の通りである。

『先に「即位礼正殿の儀」を行い、即位を内外に宣明しました。そして今日ここに集まれた皆さんから、お祝いいただくことに感謝します。

即位から約半年、多くの方々から寄せられる気持ちを、うれしく思いながら過ごしています。またこの間、さまざまな機会に国民の皆さんと直接接し、皆さんの幸せを願う思いを私たち二人で新たにしてきました。

その中であって、先月の台風19号をはじめ、最近の大雨などによる大きな被害に深く心を痛めています。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、ご遺族、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

寒さが募る中、避難を余儀なくされ、生活再建が容易でない方が数多くおられることを案じています。

復旧が進み、被災された方々が安心できる生活が、1日も早く戻ることを心から願っています。

ここに、改めて国民の幸せを祈るとともに、わが国の一層の発展と世界の平和を願います。

今日は寒い中にもかかわらず、このように大勢の皆さんが集まり、即位をお祝いいただくことに、深く感謝致します』

最後に、伊吹文明衆議院議員の万歳三唱、両陛下ご退の流れであったが、万歳の唱和が何度も繰り返され、両陛下も少し戻られて観衆に手を振られていたことがとても印象的であった。参列者が共に笑い合いながらの万歳は、これからの日本の明るい未来を映し出しているような気がして、温かい気持ちが心の中に広がった。



## 第54回 大韓民国放射線士協会学術大会 (KRTA) および 第26回 東アジア学術交流大会 (EACRT) 開催される

2019年10月25日(金)・26日(土)に韓国 京畿道で開催された、The 54th Annual Meeting of Korea Radiological Technologists Association (第54回大韓民国放射線士協会学術大会) およびThe 26th East Asia Conference of Radiological Technologists (第26回東アジア学術交流大会) に中澤会長、富田(博)理事、児玉理事の3人を含む日本人17人が参加した。今回の学術大会には、アジア地域を中心に9カ国、約80人の外国人を含め、およそ1,600人が学術大会に参加した。EACRTでは日本・韓国・台湾によるEACRTシンポジウムが開催され、日本からは本会の富田理事が「Clinical Impact of Dual Energy Technology in the Head and Neck Imaging」というテーマで講演した。



日本・韓国・台湾による3国代表者会議

また学術大会期間中にEACRT3カ国の代表者会議があり、主に教育支援プログラムに関する話し合いが行われた。次年度の教育支援についてはカンボジアに対して実施することが決定し、日程やテーマについては韓国がカンボジアと協議することとなった。また次回の第27回EACRTは2020年3月に台湾 台南市で開催することが決まり、EACRTシンポジウムのテーマはマンモグラフィーとすることが決定した。本年と同様に日本・韓国・台湾から1人ずつ20分間のシンポジウム講演を行うことも決定した。

来年度のEACRTは、2020年3月14・15日に台南市のTainan Evergreen Plaza Hotelで、第53回中華民国医事放射学会学術大会と同時開催の予定である。



機器展示のオープニングセレモニー



富田理事によるEACRTシンポジウム講演

## 第19回 中華民国医事放射線師協会国際学術大会 開催される

2019年11月3日(日・祝)、Taipei Veterans General HospitalでThe 19th Annual Meeting and 2019 TAMRT International Forum (第19回中華民国医事放射線師協会国際学術大会)が開催され、アジア地域を中心に10カ国、約70人の外国人を含め、およそ1,400人が学術大会に参加した。日本からは児玉理事が参加した。今回の国際学術大会のテーマは「Future perspectives and innovation of global radiological technology」であり、世界において研究が進んでいるAIの臨床応用、アジアの放射線治療や重粒子線治療に関する講演やシンポジウムが多数行われた。

台湾にはTWSRT (中華民国医事放射学会) とTAMRT (中華民国医事放射線師協会) があり、TWSRTは学会、TAMRTは職能団体となっている。台湾で診療放射線技師として働いている人は全員がTAMRTの会員になる必要があるため、TAMRTの会員数は約6千人である。

学術大会と同時にTAMRTの役員選挙があり、Chun-Yu-

an Tuが会長を務めることになった。なお、TAMRTの役員は3年ごとに選挙で選ばれる。次回のTAMRT International Forumは、2020年11月7日・8日に開催予定である。



TAMRT会長とのプレゼント交換



オープニングセレモニー

# 2019年度 北海道地域 学術大会 報告記

一般社団法人北海道放射線技師会  
常務理事 大島 貴仁

2019年10月26日(土)・27日(日)、札幌医科大学記念ホールで2019年度北海道地域学術大会(主催:公益社団法人日本診療放射線技師会)が開催されました。今回の大会では、2日間で合計165人(非会員含む)の参加となりました。

1日目は、一般演題発表と特別講演がありました。まず最初の一般演題は12題の応募があり、私は座長として会員の熱心な発表を聞きました。全演題の発表終了後は学術担当理事・教育委員・座長による厳正なる審査の下、本大会の優秀賞は、旭川赤十字病院 大坂麻耶さんが発表した「全人工膝関節形成術後の膝関節における単純X線正面位撮影方法の検討」が選ばれました。受賞された大坂さん、おめでとうございます。また今回発表されました12人の会員の今後のご活躍を期待しています。

続いて特別講演では、公益社団法人北海道作業療法士会 副会長 吉岡英章先生をお招きし、「北海道作業療法士会の災害時の取り組み」についてご講演いただきました。北海道作業療法士会は2011年の東日本大震災を機に、JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団



富田会長による開会あいさつ



日本診療放射線技師会  
優秀賞受賞  
旭川赤十字病院 大坂麻耶さん

体協議会)の北海道版である「DoRAT」を設立し、災害復興ボランティアに参加した会員に交通費などを助成したり、被災地における災害リハビリ支援などの活動を行った内容を紹介していただきました。昨年起きた北海道胆振東部地震で、当会においても被災した病院に診療放射線技師を派遣するといった活動を行いました。今後、こうした大災害が発生したとき、北海道放射線技師会がどのような取り組みをするべきか、何ができるのか、考えさせられる講演となりました。

2日目は、テーマ「CTの最新事情」と題して、3つのセッションがありました。1つ目はメーカーからAI・Deep Learningについての話題提供、2つ目はDual Energy CTに関して、メーカーの担当者およびユーザーである診療放射線技師からの発表、3つ目の特別講演では藤田医科大学病院 放射線部 井田義宏先生をお招きし、「X線CTにおける最新の話」と題してご講演いただきました。特別講演では、最近のCT装置の話題として、Dual Energy Imaging、Deep Learningを利用した画質再構成によるノイズ低減、超高精細CT、CTDIに代わる線量指標であるSSDEなどの技術的な話題を取り上げ、さらに2020年医療法施行規則改正に関する話題提供がありました。各施設が来年4月に向け、医療放射線安全管理責任者の配置や被ばく線量の管理・記録の方法などの対応が求められていますが、その点について非常に分かりやすくご講演いただきました。

最後になりますが、北海道地域学術大会への多数のご参加をありがとうございました。来年もぜひ参加していただきますようお願い致します。



特別講演(1日目)  
公益社団法人北海道作業療法士会  
副会長 吉岡英章先生



特別講演(2日目)  
藤田医科大学病院  
放射線部 井田義宏先生

# 第9回 東北放射線医療技術 学術大会 開催される

公益社団法人日本診療放射線技師会  
東北地域理事 船水 憲一

2019年10月26日(土)・27日(日)の2日間、坂本博大会長(東北大学病院)の下、仙台国際センターで第9回東北放射線医療技術学術大会(2019年度(公社)日本診療放射線技師会東北地域学術大会ならびに(公社)日本放射線技術学会東北支部第57回学術大会の合同開催)が開催された。

大会テーマは『Beyond all Radiversity』、サブテーマには「マルチモダリティの<sup>こえ</sup>聲」を掲げた。“Radiversity”とは放射線診療のマルチモダリティ化やRadiomicsを主体としたマルチタスクに加え、AI・ICT・IoT、働き方改革など多様化する放射線医療技術の現状を表現したRadiologyとdiversityを組み合わせた造語である。

大会内容は以下の通りである。

## ◎特別講演「深層学習とマルチモダリティの可能性」

東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻  
医用画像工学分野 教授 本間経康先生

## ◎市民公開講座「もっと知ろうよ 乳がんのこと」

(ピンクリボン仙台推進委員会との共催企画)

・「乳がんの診断から治療まで」  
(ピンクリボン仙台推進委員会)

東北大学大学院医学系研究科  
乳腺・内分泌外科学分野 教授 石田孝宜先生

・「マンモグラフィって、どんな検査」  
解説と実機による疑似体験コーナー



本会 佐野幹夫副会長



坂本博大会長



## ◎シンポジウム「医療安全の適正化がもたらす影響」

北村秀秋先生の基調講演を皮切りに、3時間にわたり施設の取り組み、線量管理の現状と問題点などのディスカッションが行われた。

## ◎JART企画

「ワークフローコントロール：働き方改革とスキルアップ」  
「Women Serendipity：自分時間の使いかた・作りかた」  
「東北地域女性活躍推進班みちのくこまち：働き方改革で医療現場はこう変わる!？」

また本大会の優秀な演題に贈られる学術奨励賞には、

- 岩手医科大学附属病院 佐々木洸一氏  
「線量管理システムによる臓器線量の比較検討」
- 秋田大学医学部附属病院 伊藤美保氏  
「デジタルマンモグラフィのソフトコピーにおける画像評価用乳房ファントムの画質指標値による画像評価」
- 福島県立医科大学附属病院 齋藤将輝氏  
「超高精細CTにおける面内のスライス厚評価」
- 宮城県立がんセンター 後藤光範氏  
「異なる造影チューブによる空気混入のリスク検証」
- 弘前大学医学部附属病院 阿倍健氏  
「GMサーベイメータにおける換算早見表の作成」
- 東北大学病院 西原拓也氏  
「口内法X線撮影時における空間散乱線量分布の基礎的評価」

の6人が選ばれ、本会 佐野幹夫副会長より表彰状が授与された。

本大会の一般演題数は116題、参加登録者数は534人、情報交換会参加者は196人、市民公開講座受講者は200人(うち会員50人)であった。

本大会の開催にご尽力いただいた坂本博大会長、斎政博実行委員長ならびに実行委員の皆さま、協賛企業の皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。

来年度は、福島県で開催される。



# 第14回九州放射線医療技術学術大会 報告記

一般社団法人熊本県放射線技師会  
会長 西小野 昭人



2019年11月9日(土)・10日(日)の2日間、熊本県熊本市の熊本城ホールで第14回九州放射線医療技術学術大会が開催されました。本大会は第65回九州放射線技師学術大会／第68回日本放射線技術学会九州支部学術大会でもあり、(公社)日本診療放射線技師会、九州地域放射線技師会、(公社)日本放射線技術学会の合同で開催されている大会です。大会長を西小野昭人、実行委員長を緒方隆昭とし、大会テーマ「ReBORN～未来への創造と伝承～」を掲げ開催致しました。14回目となる本大会は、発表演題数182演題、参加者数1,224人と多くの方にご参加いただきました。

特別講演は「診療放射線技師の将来像」と題して、日本診療放射線技師会 佐野幹夫副会長にご講演いただきました。

シンポジウムは、テーマを「これからの診療放射線技師がやるべきこと」とし、4つのやるべきことを設定してシンポジストにご講演いただきました。1つ目は名古屋第二赤十字病院 駒井一洋氏による「事業継続計画」、2つ目はベルランド総合病院 鈴木賢昭氏による「被ばく管理」、3つ目は純真学園大学 中村泰彦氏による「機器管理」、4つ目は大阪市立大学医学部附属病院 市田隆雄氏による「読影の補助」でした。それぞれが今後の道筋を的確にお話しいただき、最後の討論も活発に行われました。

3つのランチョンセミナーでは、九州地域放射線技師会企画として「国内外における線量管理の動向と線量管理システム－Radimetrics－」と題し、バイエル薬品株式会社ラジオロジー事業部 山内宏祥氏に、実行委員会企画として「3次元画像の最前線－造影、非造影から

の3次元画像表示」と題し、広島大学病院画像診断部門 石風呂実氏に、日本放射線技術学会九州支部企画として「数値流体力学解析を用いた血流動態解析の現状と展望：3次元血管造影画像を用いた血流応力評価」と題し、財団法人平成紫川会小倉記念病院 佐保辰典氏にそれぞれご講演いただきました。

また実行委員会企画講演としては、聖マリアンナ医科大学大学院 医学研究科医療情報処理技術応用研究分野 小林泰之先生に「医療AI最前線：診療放射線技師と放射線科医の共創に向けて」と題し、画像診断の未来についてご講演いただきました。それぞれの講演を通して、大会テーマである“未来への創造と伝承”が少しでも伝わったのではないかと考えています。

情報交換会は大会初日にメルパルク熊本で開催され、参加者数209人と盛会であり、九州各県から寄贈された焼酎・日本酒に舌鼓を打ちながら、会員相互の交流と親睦を深めていただきました。

2日目には市民公開講座が行われ、「納得できる生き方、していますか?」と題して、株式会社ヒトコト社 村上美香先生にお話しいただきました。元アナウンサーとしての体験を踏まえた、人の生き方について市民の皆さまの心に伝わるお話でした。

本大会の成功は、長い間準備を行っていただいた大会実行委員の尽力と、九州各県会員の大会を支援する気持ちによるものと考えており、本大会に関わっていただいた全ての皆さまに心より感謝を申し上げます。次回の第15回九州放射線医療技術学術大会は、2020年11月14日(土)・15日(日)に長崎県長崎市の長崎ブリックホールにおいて福田徹大会長の下、開催の予定です。



# 2019年度 第2回 超音波実技講習会 「腹部領域」開催報告

公益社団法人日本診療放射線技師会  
九州地域理事 江藤 芳浩

2019年10月27日(日)、本会事務所講義室で2019年度第2回超音波実技講習会「腹部領域」が開催されました。

本講習会は「今から始める超音波検査」と題して、超音波検査未経験または再履修を希望するミドルシニア・シニア会員を対象に、超音波検査をセカンドキャリアとして活用していただくことを目的として年3回開催している。

本講習会の座学部分については、事前にDVDを視聴していただき、当日は十分な時間をかけて実技指導のみを行う構成となっている。またしっかりと基礎を身に付けていただけるよう、定員30人の少人数制とし、超音波装置5台、講師10人に対し、1班6人の受講者で集中的に指導が行われている。なお今回は23人の受講者であった。



今回の腹部領域では、「肝」「胆・胆道」「脾・脾臓」「腎・膀胱・婦人科領域」「腹部大動脈・消化管」の5領域を対象に実技が行われた。プローブの持ち方や動かし方、対象臓器ごとの基本走査法やコツ、走査上の注意点やピットホールなどについて、超音波検査のエキスパートである講師が、受講者一人一人に丁寧に指導される。未経験者や初心者にとって、超音波検査の習得は座学だけでは難しいため、実技のみ集中的に行う本講習会は大変有意義であり、今回も受講者が熱心に受講された。

本会のシニア向け超音波実技講習会は、講習会で得た知識と走査技術を臨床業務に生かしていただくとともに、将来の就労のためのキャリアアップや在宅医療をはじめ、大規模災害における診療放射線技師の関わりを超音波検査によって実現していただく期待も込められている。本事業がますます発展し、一人でも多くの会員が超音波検査に携わっていただくことを願う。

最後に、本講習会開催に当たり実技指導いただいた講師の皆さま、超音波装置をご提供いただいた(株)日立製作所、コニカミノルタジャパン(株)、GEヘルスケア・ジャパン(株)のスタッフの皆さま、日本診療放射線技師会関係各位に感謝を申し上げます。

## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION



第4回

# 第36回日本診療放射線技師学術大会

## 宮城への道

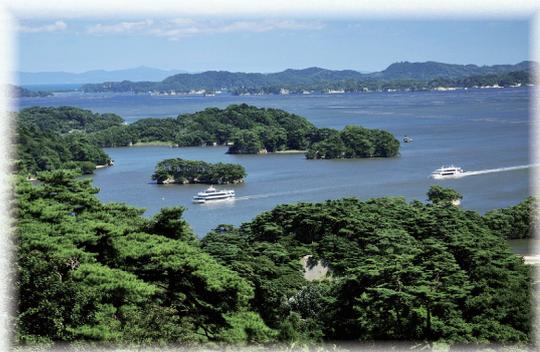
宮城県放射線技師会 広報部



### 宮城の見どころ

今回は宮城の観光地・見どころです。宮城は東に太平洋、西に奥羽山脈がありますが、その中でもまずは太平洋に面した松島からご紹介します。

**松島**は日本三景の一つとして、古くから親しまれてきました。仙台から電車で30分ほど揺られ、高台にある駅に降り立つと、そこにあるのは太平洋の雄大な水平線を背景に、松島湾の大小さまざまな260ほどの島々が楽しめる稀有な景勝地になります。湾内には**島巡り観光遊覧船**があり、大小の奇岩が移り変わる風景を満喫できます。また松島には、伊達政宗公の菩提寺である**瑞巖寺**や**円通院**があります。秋には庭園の紅葉のライトアップが行われ、昼間とは違う神秘的な景観を堪能できます。ぜひ、訪れてみてください。



宮城の紅葉といえば、**鳴子峡**です。仙台駅からバスで1時間半ほどかかりますが、学会時の紅葉は最も見頃だと思います。高さ約100mの断崖絶壁が2.5kmにわたって続くV字型渓谷で、奇岩と松の緑が点在する中に織りなす紅葉美は圧巻です。また鳴子は温泉郷でもあり、源泉数も多く、湧き出るお湯の量も豊富で有名です。そして何と、日本にある11の泉質のうち9種類が**鳴子温泉郷**に集まっているのです。便利な「湯めぐりチケット」で、はしご湯をしてみてはいかがでしょうか。

最後に**仙台うみの杜水族館**をご紹介します。ここは仙台駅からJRまたは地下鉄・バスを乗り継いでおよそ30分で行くことができる東北最大級の水族館です。館内では宮城が誇る**マボヤ(ほや)**がロープにぶら下がる様子が見られ、その合間をいろいろな魚が泳いでいます。長期飼育が難しい**ヨシキリザメ**も飼育されていますので、ぜひ、足を運んでみてください。

次回は学会場近くの見どころをご紹介しますので、楽しみに！



\***今月の一杯**：今月は「**萩の鶴(はぎのつる)**」です。特別純米酒秋あがりは、フルーティーな香りで甘さと酸のバランスが取れた、すっきりしたお酒です。うま味がじんわりと引いていく感じです。ぜひ、どうぞ！



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

# 日本診療放射線技師学会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう  
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ  
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期  
Date

2020年  
10月23日(金) ▶ 25日(日)

会場  
Venue

仙台国際センター

会長  
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa  
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長  
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana  
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

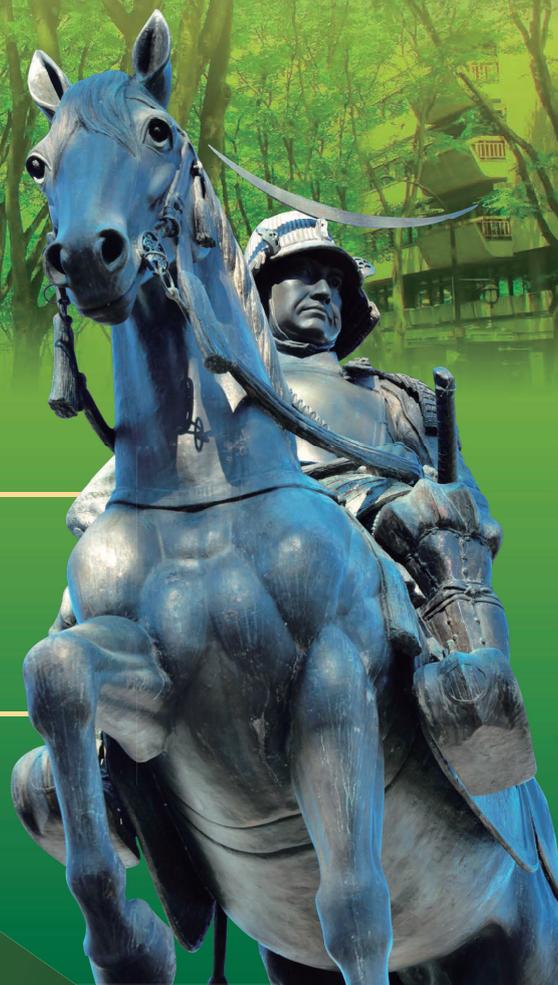
公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)  
宮城県 (予定)  
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL : 022 ( 388 ) 3777 FAX : 022 ( 388 ) 3778

## がん放射線治療の均てん化について



日本診療放射線技師会の事業計画には「がん放射線治療の均てん化」が項目立てされている。この「均てん化」とは、主に医療分野で用いられる用語で「医療サービスなどの地域格差などをなくし、全国どこでも等しく高度な医療を受けることができるようにしていく」という意味の言葉である。そもそも「均てん：均霑」は、誰もが等しく利益を享受できることとされ、前述の事業計画を当て込むと「がん放射線治療の分野において、地域格差をなくし、全国どこでも等しく高度な放射線治療を受けることができるようにしていくことを目指す」と解される。

小生も、放射線治療を担当する診療放射線技師として、がん放射線治療分野の均てん化について、もちろんそうなるべきだと思っていたが、ここに来てまさにその格差に直面した。

親族が突然がんと宣告されたのだ。

親族は、人口30万を越える地方の中核都市在住の85歳。最後に訪ねた時も、年齢の割にかくしゃくとしており、病魔とは無縁の印象であった。

しかし、在住医療圏の代表的な中核医療機関（地域がん診療連携拠点病院）で、副鼻腔のがんと診断され、顔面の骨破壊を伴い急速に周囲組織への浸潤が進むなど、早急な治療が望まれる状況になっていた。

当該医療機関では、3D-CRTによる放射線単独療法か、IMRTの施行が可能な医療機関への紹介を提示されたのだが、当該医療圏でIMRTを行っている医療機関は存在しなかった。

IMRTが可能な医療機関までは近くても片道80km余りあり、簡単に通院できる距離ではないことから、事実上選択の余地はない状況だった。

これまで、がん放射線治療の均てん化が必要だと頭では理解していた（つもりだった）が、今回、自分が患者家族側の立場としてがん放射線治療の地域格差に直面したことで、どうして地元で十分な放射線治療が受けられないのか、この理不尽な地域格差がなぜ存在したままなのか割り切れない思いに駆られた。

厚生労働省は、2005（平成17）年に「がん医療水準均てん化の推進に関する検討会」による「がん医療水準の均てん化に向けて」という報告書を公開しており、診療放射線技師の担う役割についても言及がある。この報告から10年以上が経過した今、果たして地域格差は本当に縮小しているのだろうか。

高齢化が急速に進む中、がん医療の均てん化が追い付くどころか、より深刻な格差が生じていないか、少し心配になった。

くしくも本会では、2020年2月24日（月・振休）に、がん放射線治療の均てん化に資する目的で、広報委員会と放射線治療分科会が共催する「2019年度がん放射線治療における質の確保に向けた基礎セミナー」を開催する。

セミナー一つで均てん化をうたうことなどももちろんできないが、多くの皆さまをお迎えすることで、この格差の解消に少しでもお役に立てば幸いと思っている。

（文責：松田恵雄）

## 1月・2月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ マネジメント研修会：	大 阪	1月25日（土）～26日（日）
■ 骨関節撮影分科会セミナー：	熊 本	1月26日（日）
■ Ai認定講習会：	東 京	2月 1日（土）～ 2日（日）
■ 放射線機器管理地域研修会（愛媛県）：	愛 媛	2月 2日（日）
■ 放射線被ばく相談員講習会：	東 京	2月 8日（土）～ 9日（日）
■ 下部消化管（注腸）認定診療放射線技師認定講習会・認定試験：	東 京	2月16日（日）
■ 画像等手術支援認定講習会：	東 京	2月16日（日）
■ がん放射線治療における質の確保に向けた基礎セミナー：	東 京	2月24日（月・振休）

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000004api.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html)

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。